

午 前

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午前の試験問題数は 56 問で、解答時間は 1 時間 35 分です。

社会福祉概論

問題 1 社会福祉の理念に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ナショナルミニマムは、障害者のノーマルな生活の実現を目的としていたが、今日では少数者を排除してきた社会のあり方を批判し、改革する理念としても展開されている。
- B リハビリテーションは、身体の機能回復のみを目的とするのではなく、その人が再び人間らしく生きることのできる「全人間的復権」を目標としている。
- C ノーマライゼーションは、すべての国民に健康で文化的な最低限度の生活を保障するもので、今日では所得保障だけでなく、教育、住宅や環境なども含めて考えられている。
- D ソーシャルインクルージョンは、すべての人々を社会的孤立や排除などから援護し、社会の構成員として包み支え合うことにより、今日的な「つながり」を再構築することを目指している。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 2 削除

問題 3 社会福祉の歴史上の人物とその業績等に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 パールマン (Perlman, H.) は、『社会診断』(Social Diagnosis) を執筆して、ケースワークの基礎を確立した。
- 2 リッチモンド (Richmond, M.) は、社会保険制度の理論体系を打ち立てた。
- 3 アダムズ (Addams, J.) は、慈善組織化運動 (COS) の指導者として活躍した。
- 4 留岡幸助は、救世軍に入り、貧困問題に尽力した。
- 5 石井十次は、岡山孤児院を創設した。

問題 4 利用者等への相談・助言などに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 市町村は、障害者福祉に関する諸問題について、障害者からの相談に応じ必要な情報提供や助言を行う。
- 2 市町村社会福祉協議会は、精神上の理由により日常生活を営むのに支障がある者に対して、福祉サービスの利用に関する相談に応じ助言を行うことができる。
- 3 都道府県の身体障害者更生相談所は、身体障害者の福祉に関し、身体障害者に関する相談及び指導のうち、専門的な知識・技術を必要とするものを行う。
- 4 都道府県社会福祉協議会の運営適正化委員会は、福祉サービスに関する苦情についての解決を申し出た者からの相談に応じ、必要な助言を行う。
- 5 社会保険診療報酬支払基金は、介護保険法によるサービスを提供する事業者や施設に対して、必要な指導や助言を行う。

問題 5 介護福祉士に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 社会福祉士及び介護福祉士法では、法の目的は、社会福祉士及び介護福祉士の資格を定めて、その業務の適正を図り、社会秩序の安定に寄与することであるとしている。
- 2 社会福祉士及び介護福祉士法では、介護福祉士となる資格を有する者が介護福祉士となるには、介護福祉士登録簿に、氏名、生年月日その他厚生労働省令で定める事項の登録を受けなければならないとしている。
- 3 「倫理綱領」では、利用者本位の立場から自己決定を最大限尊重し、自立に向けた介護福祉サービスを提供することとしている。
- 4 「倫理綱領」では、介護福祉サービスの質的向上に努め、自己の実施した介護福祉サービスについては、常に専門職としての責任を負うこととしている。
- 5 「倫理綱領」では、すべての人々が将来にわたり安心して質の高い介護を受ける権利を享受できるよう、介護福祉士に関する教育水準の向上と後継者の育成に力を注ぐこととしている。

(注) 「倫理綱領」とは、「日本介護福祉士会倫理綱領（1995年11月17日宣言）」のことである。

問題 6 社会福祉の費用等に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 共同募金で募集した寄付金は、更生保護事業を経営する者に配分してはならない。
- 2 国は、市町村が行う障害者に対する地域生活支援事業に要する費用の3分の2を補助しなければならない。
- 3 老人福祉法における福祉の措置によるサービス提供に要する費用は、原則として市町村が支弁する。
- 4 介護保険法に基づき市町村が行う地域支援事業に要する費用は、すべて保険料で賄われる。
- 5 国立社会保障・人口問題研究所によれば、平成16年度の我が国の社会保障給付費の中で介護対策に要する給付費の占める割合は、2割を超えている。

問題 7 社会保障関連制度に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 住生活基本法によれば、政府は、国民の住生活の安定の確保と向上の促進に関する施策を推進するために、基本的な計画を定めなければならないとしている。
- 2 政府の行う職業紹介事業の実施機関として、全国に労働基準監督署が設置されている。
- 3 都道府県知事が指定するシルバー人材センターは、臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）を希望する高年齢退職者の就業機会の確保を、その業務の一つとしている。
- 4 障害者の雇用の促進等に関する法律によれば、事業主は、障害者が有する能力を正當に評価し、適当な雇用の場を与え適正な雇用管理を行うことにより、その雇用の安定を図るように努めなければならないとしている。
- 5 公民館の設置及び管理に関する事務は、市町村の教育委員会が行う。

問題 8 地域における社会福祉の機関・施設に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 地域包括支援センターは、老人福祉法に基づき、要介護高齢者とその家族の相談・援助を行っている。
- B 児童家庭支援センターは、次世代育成支援対策推進法に基づき、虐待世帯の調査・被虐待児童の保護を行っている。
- C 地域活動支援センターは、障害者自立支援法に基づき、障害者及び障害児の地域における交流や生産活動の支援を行っている。
- D 隣保館は、社会福祉法に基づき、地域における住民の生活の改善及び向上を図るための隣保事業を行っている。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

老人福祉論

問題 9 我が国の高齢者保健福祉施策の発展に関する次の記述の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

平成元年12月の「A」は、高齢者の保健福祉分野における公共サービスの基盤整備の促進を図った。平成6年3月の「B」は、年金・医療・福祉の社会保障の財源構造の転換を提言した。平成9年12月には「C」が制定され、介護サービスの充実が図られた。

- | | A | | B | | C |
|---|------------------|---|---------------|---|-------|
| 1 | 「高齢者保健福祉推進十か年戦略」 | — | 「2015年の高齢者介護」 | — | 介護保険法 |
| 2 | 高齢社会対策基本法 | — | 「21世紀福祉ビジョン」 | — | 社会福祉法 |
| 3 | 高齢社会対策基本法 | — | 「2015年の高齢者介護」 | — | 介護保険法 |
| 4 | 「高齢者保健福祉推進十か年戦略」 | — | 「21世紀福祉ビジョン」 | — | 社会福祉法 |
| 5 | 「高齢者保健福祉推進十か年戦略」 | — | 「21世紀福祉ビジョン」 | — | 介護保険法 |

問題 10 老人福祉における行政機関等に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 市町村は、必要に応じて養護老人ホーム又は特別養護老人ホームへの入所の措置を採らなければならない。
- B 民生委員は、市町村長、福祉事務所長の事務の執行に協力するものとされている。
- C 市町村は、老人の福祉に関して、必要な実情の把握に努めると同時に、必要な情報の提供や相談、調査、指導を行わなければならない。
- D 福祉事務所には、査察指導を行う介護支援専門員を置かなければならない。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 11 「指定介護老人福祉施設の運営基準」とその解釈に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 施設サービス計画に関する業務を担当する介護支援専門員は、入所者の心身の状況や置かれている環境をアセスメントして施設サービス計画を作成するが、居宅で日常生活を営むことができるかどうかについては検討する必要はない。
- 2 地域で保健・医療との連携が確保できれば、入院治療を必要とする入所者のための協力病院を定める必要はない。
- 3 介護サービス情報の公表制度が始まったので、自らサービスの質の評価を行う必要はなくなった。
- 4 入所者及びその家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置しなければならない。
- 5 入所者の経済的負担があれば、従業者以外の者による介護を提供してもよい。

(注) 「指定介護老人福祉施設の運営基準」とは、「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準」のことである。

問題 12 介護保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 介護保険法第1条は、法の主要な目的として、「要介護状態の改善及び介護予防」を明記している。
- 2 生活保護の受給者は、原則として介護保険制度の被保険者にならない。
- 3 保険料の徴収は、第1号被保険者については市町村（特別区を含む。）が行い、第2号被保険者については医療保険者が行う。
- 4 要介護及び要支援の認定は、併せて6つに区分して行われる。
- 5 保険給付の費用に対する国の負担は、市町村が給付した費用の100分の50である。

問題 13 地域包括支援センターに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 市町村が設置する地域包括支援センター運営協議会の意見を踏まえて、適切、公正かつ中立な運営を確保する。
- B 保健師，社会福祉士，主任介護支援専門員の3職種，あるいはそれらに準ずる者を置く。
- C 被保険者に対する虐待の防止及びその早期発見のための事業その他の被保険者の権利擁護のために必要な援助事業を行う。
- D 地域包括支援センターが行う包括的支援事業の財源は，税のみで賄われる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 14 削除

問題 15 有料老人ホームに関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 社会福祉法の第一種社会福祉事業に位置づけられている。
- B 類型としては、介護付有料老人ホーム，住宅型有料老人ホーム，健康型有料老人ホームがある。
- C 設置しようとする者は、あらかじめ都道府県知事に届け出なければならない。
- D 設置者には、介護等の内容に関する情報開示が義務づけられている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 16 次の施設のうち、老人福祉法に基づく老人福祉施設に該当しないものを一つ選びなさい。

- 1 養護老人ホーム
- 2 軽費老人ホーム
- 3 老人福祉センター
- 4 老人介護支援センター
- 5 介護老人保健施設

問題 17 老人福祉計画に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 老人福祉計画には、全国計画、都道府県計画及び市町村計画がある。
- B 市町村は、地方自治法の基本構想に即して、老人福祉事業の供給体制の確保に関する計画を定める。
- C 市町村老人福祉計画は、市町村老人保健計画及び市町村介護保険事業計画と一体のものとして作成される。
- D 国及び地方公共団体は、市町村老人福祉計画の達成に資する事業を行う者に対し、必要な援助を与えるように努める。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

問題 18 成年後見制度に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 法定後見制度は、後見、保佐の二つの制度から構成されている。
- 2 家庭裁判所は、後見開始の審判をするときは、職権で、成年後見人を選任する。
- 3 市町村長は、65歳以上の者につき、その福祉を図るために特に必要があると認めるときは、民法に規定する審判の請求をすることができる。
- 4 成年後見人には、社会福祉協議会等の社会福祉法人や福祉関係の公益法人等を選任することが認められている。
- 5 家庭裁判所は、成年被後見人の財産の中から、相当な報酬を成年後見人に与えることができる。

障害者福祉論

問題 19 我が国における障害児・者の状況に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「身体障害児・者実態調査」(平成13年)による在宅の身体障害児・者の数を年齢階層別(18歳未満, 18～64歳, 65歳以上)で見ると, 18歳未満が最も多い。
- 2 「身体障害児・者実態調査」(平成13年)による在宅の身体障害児・者の数を障害種別で見ると, 内部障害が最も多い。
- 3 「知的障害児(者)基礎調査」(平成17年)による在宅の知的障害児・者の数を年齢階層別(18歳未満, 18～64歳, 65歳以上)で見ると, 18歳未満が最も多い。
- 4 「患者調査」(平成17年)を基に厚生労働省が作成した資料による外来の精神障害者の数を精神疾患の種別構成割合で見ると, 「気分(感情)障害(躁うつ病を含む)」が最も多い。
- 5 「患者調査」(平成17年)を基に厚生労働省が作成した資料による入院している精神障害者の総数は, 約15万人である。

問題 20 障害者自立支援法に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 身体障害, 知的障害, 精神障害の3障害の障害者施策を一元化している。
- 2 利用者本位のサービス体系を目指し, これまでの複雑な施設・事業体系を再編している。
- 3 支援の必要度に関する客観的な尺度(障害程度区分)が導入されている。
- 4 障害者が地域で暮らせる社会, 自立と共生の社会の実現を目指している。
- 5 利用者の費用負担は, 応能負担を原則としている。

問題 21 ノーマライゼーションに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 障害者基本計画の理念に掲げられている。
- B 知的障害児の入所施設をめぐる状況への対応理念として、デンマークで初めて提唱された。
- C 国際障害者年のテーマとして表記された。
- D 大規模入所施設の「脱施設化」に影響を与えた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

問題 22 障害者福祉関連施策に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 学校教育法の一部改正により特別支援学校となったのは、盲学校、聾学校、養護学校のうち、養護学校についてである。
- B 一般の民間企業については、1.8%の法定雇用率が適用されている。
- C 「バリアフリー新法」においては、道路もバリアフリー化の対象とされている。
- D 福祉サービス利用援助事業を利用できる障害者は、「手帳」を所持する障害者に限定されている。

(注) 「バリアフリー新法」とは、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」のことである。

(組み合わせ)

1	A	B
2	A	C
3	A	D
4	B	C
5	B	D

リハビリテーション論

問題 23 身体障害のリハビリテーションに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 急性期及び回復期のリハビリテーションでは、廃用症候群の予防と早期離床、日常生活活動の早期自立、向上を図ることが重要である。
- B パーキンソン病の初期では、筋力増強訓練をすることが重要である。
- C 関節リウマチでは、安静と関節炎を悪化させないような適度な運動とのバランスをとることが重要である。
- D 脊髄損傷では、車いすに長時間座り続けると坐骨部に褥瘡を形成する危険があるので、車いすにはクッションを使用して座ることが重要である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 24 身体障害のリハビリテーションに関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 脳卒中による片麻痺では、健側による代償も活用して生活機能の改善を図る。
- 2 失った機能を代償するために、福祉用具を積極的に活用する。
- 3 基本的な日常生活動作（ADL）が自立するまでは、社会的自立へのアプローチは行わない。
- 4 病院や施設においては、訓練室のみでなく実際の生活の場でも行う。
- 5 高齢者や体力の低下している者の機能訓練は、一回の量を少なくして頻回に行う。

問題 25 福祉用具に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 特殊寝台の配置を決める場合は、利用者の起き上がる方向や動作の仕方などを考慮する。
- 2 介助用標準型車いすの多くは、手押しグリップに介助用ブレーキレバーが付いている。
- 3 短下肢装具は、膝関節の動きを制御するものである。
- 4 歩行器は、杖に比べて大きな支持性・安定性を必要とする場合に利用する。
- 5 四脚杖は、T字杖に比べて支持性・安定性に優れている。

問題 26 国際生活機能分類（ICF）に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 生活機能とは、「心身機能・身体構造」、「活動」、「参加」から構成される。
- B 活動とは、日常生活動作だけでなく様々な生活行為である。
- C 介護者は、背景因子のうちの個人因子に含まれる。
- D ICFの活用で、生活機能や疾病等の共通理解が進むと期待されている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

社会福祉援助技術（演習を含む。）

問題 27 社会福祉援助技術の基本に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 日常生活に支障がある利用者に対して、本人に代わって全面的に生活問題を解決する。
- B 利用者の身体機能や心理状態ではなく、社会的な環境状況に焦点を当てる。
- C 利用者のニーズの充足を図ることによって、生活の質を高める。
- D 公平の原則に基づき、画一・平等な内容の支援を行う。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問題 28 面接における援助者の行動に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 積極的に聴いている印象を伝えるには、腕組みをする。
- 2 受容の姿勢では視線をそらさず、利用者の目を凝視する。
- 3 傾聴の姿勢を示すときには、相づちをうたない。
- 4 基本的な情報を確認するときには、「閉じた質問」をする。
- 5 非審判的態度を示すには、援助者の主観や価値観を利用者に伝える。

問題 29 集団援助技術の基本的知識に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 グループワークでは、グループを媒体として個人を支援する。
- 2 プログラムの計画作りは、グループのメンバーと援助者との共同作業である。
- 3 グループの成長を促進するために、援助者は自らを特定の役割に固定する。
- 4 援助者は、グループの中で生まれた「集団規範」を手段として活用できる。
- 5 グループには自然発生的なものもあれば、人為的なものもある。

問題 30 社会福祉援助技術の用語に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 提供機関間の連携を図り連絡・調整することを、コーディネーションという。
- 2 援助者が主導的に決定できる援助関係を、ラポールという。
- 3 利用者側に立った利用者の権利などの擁護活動を、アドボカシーという。
- 4 援助者が地域に出向き面接や援助をすることを、アウトリーチという。
- 5 利用者が援助を活用して問題解決に向かう能力を、ワーカビリティという。

問題 31 ケアマネジメントの過程に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A アセスメントは、利用者の主訴から得られた情報に限定して行う。
- B ケアプランは、利用者の参加を得て作成する。
- C ケアプランは、必要に応じて変更されるものなので、文書化することは避けた方がよい。
- D 心身機能面での大きな変化が予測される利用者に対しては、特にきめ細かなモニタリングを実施する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

(社会福祉援助技術 (演習を含む。)・事例問題)

次の事例を読んで、問題32から問題34までについて答えなさい。

〔事例〕

一人暮らしのEさん(78歳)は、夫と5年前に死別した。指定介護老人福祉施設(以下「施設」という)に入所して3年目。ここ数年、ますます体力が弱まってきた。2か月程前、散歩中に転んで左大腿骨頸部を骨折して入院し、人工骨頭の置換術を受けた。手術後のリハビリテーション(以下「リハビリ」という)を受け、病院から退院に向けて施設に外泊中のEさんは、車いすで施設内を移動しながら、しきりに介護職員に今後の生活の不安を訴えていた。「リハビリをいくらやっても、自分の思うようには歩けない。リハビリの先生の力不足に違いない。これからはこのままずっと車いすが必要になって、最悪の場合は、寝たきりになるかもしれない。そんな状態になっては、介護の手もかかるし、皆さんに申し訳ない。私は、歩けなくなったら、何もできないし、生きていても仕方ない」とEさんは話しながら、涙して、とても落ち込んでいる様子であった。その後Eさんは、退院して施設に戻った。

問題 32 病院から外泊中のEさんは、以下の障害受容の過程におけるどの段階と考えられるか、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ショック期
- 2 否認期
- 3 混乱期
- 4 解決への努力期
- 5 受容期

問題 33 病院から外泊中のEさんの訴えへの施設介護職員による対応として、次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「もう少しお話をお聞きしましょう」と声をかけて、じっくりと話を聴く。
- B 「いろいろなことがご心配なのですね」と言葉を返す。
- C 「おからだの不自由さをやっとな受け入れられたのですね」と優しく言う。
- D 「骨折の原因を思い出してください」と言う。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 34 Eさんが退院した後の施設介護職員による対応として、次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Eさんの抱えている希望や期待に対して支持的にかかわる。
- B 同じような骨折体験をした人達との交流を勧める。
- C 現在の生活状態について話し合う。
- D 外出や旅行などを主導的に計画し、Eさんに実行してもらう。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

レクリエーション活動援助法

問題 35 障害者自立支援法に規定する地域活動支援センターに係る次の条文の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

「この法律において『地域活動支援センター』とは、障害者等を通わせ、「A」又は「B」の機会の提供、「C」その他の厚生労働省令で定める便宜を供与する施設をいう。」(障害者自立支援法第5条第21項)

- | | A | B | C |
|---|-------|------|-----------|
| 1 | 文化的活動 | 生産活動 | 社会との交流の促進 |
| 2 | 創作的活動 | 余暇活動 | 雇用の促進 |
| 3 | 文化的活動 | 余暇活動 | 雇用の促進 |
| 4 | 創作的活動 | 生産活動 | 雇用の促進 |
| 5 | 創作的活動 | 生産活動 | 社会との交流の促進 |

問題 36 レクリエーション活動援助におけるチームワーク等に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 施設におけるレクリエーション活動を円滑に行うためには、担当者だけでなく全職員の理解を得ることが必要である。
- B 認知能力の向上を目的とした活動の場合、作業療法士などの参加を図ることも必要である。
- C ボランティアの協力を得ることにより、レクリエーション活動の幅を広げることが期待できる。
- D 複数の援助者それぞれが異なった思いでサービスを提供することが、チームワークの強化につながる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 37 レクリエーション活動援助の記録・評価に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 援助の日時や内容をはじめ、準備品や利用者の参加の様子とその感想などを記録する。
- B 評価の際に、数量化されている評価尺度を用いる場合もある。
- C 予算の管理は、評価対象から省く。
- D 個別援助目標の達成度も評価対象とする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

(レクリエーション活動援助法・事例問題)

老人デイサービスセンターにおけるレクリエーション活動援助に関する次の事例を読んで、問題38から問題40までについて答えなさい。

〔事例〕

Fさん(女性, 73歳, 要介護3)は, 脳梗塞による左半身麻痺があり, 杖歩行である。P市にある老人デイサービスセンター(以下「センター」という)を利用している。Fさんは若い頃から旅好きで快活であったと家族から聞いている。

最近, Fさんは軽い認知症の症状が見られるようになった。Fさんにこれまでの人生を回想してもらうため, 得た情報を基にレクリエーション活動援助の企画を始めた。Fさんは, 日ごろから他の利用者と交流することを苦手とし, 利用日以外の時間を自宅内で過ごす事が多く, 音楽を楽しんで聴いている。近ごろボランティアとよく会話するようになり, 「白黒はっきりしていることが好き」といったことが明らかになった。

また, センターでは, 利用者の誕生日会を適宜行っている。この会は, 職員が企画したプログラムを基にその助言を得ながら, ボランティアが中心となって運営している。誕生日を迎えるFさんのために誕生日会を企画した。

問題 38 日常的に, Fさんに提供するレクリエーション財に関する次の記述のうち, 適切なものに○, 適切でないものに×をつけた場合, その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ボランティアとおしゃべり
- B 新しい技術を習得するための陶芸
- C 散歩などの外出
- D 楽しみを大切にするための音楽鑑賞

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 39 Fさんの誕生日会の企画の内容に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 勝負のつきやすいゲーム
- B 回想法を用いた若い時の旅の話
- C 移動を伴ういす取りゲーム
- D 初めての歌やゲーム

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 40 Fさんの誕生日会におけるボランティアの役割に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ボランティアが、機能訓練の必要性を感じて運動系プログラムを取り入れる。
- B ボランティアが自ら仲介役として、Fさんと他の利用者との会話を促す。
- C ボランティアに、雰囲気作りにふさわしいゲームをリードしてもらう。
- D Fさんの協力を得ながら、ボランティアの特技を生かして、楽しい場を作る。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

老人・障害者の心理

問題 41 エリクソン (Erikson, E.) が提唱した自我の発達課題に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 乳児期 (infant) の課題は、「基本的信頼」の形成である。
- B 青年期 (adolescence) の課題は、自己をコントロールできる「自律性」の獲得である。
- C 成人期初期 (young adult) の課題は、他者とのかかわり合いの中での「親密さ」である。
- D 成人期後期 (円熟期) (old adult) の課題は、自己の人生を評価し、受け入れていくことによる「自我の統合」である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 42 高次脳機能障害のある人に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 記憶やコミュニケーションの障害からの不安があるので、支援においてカウンセリングなどの心理的ケアを適用する場合もある。
- B 注意集中や意欲発動性の低下がほとんど見られないので、社会的行動面は安定している。
- C 日常行為や知的能力の障害が生じることがある。
- D 家族や周囲の人、医療・保健・福祉従事者、学校や職場関係者等の適切な対応が求められる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 43 欲求や動機づけに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A マズロー (Maslow, A.) は、基本的な欲求を優先度により 3 段階に階層づけた。
- B 強い不安や不快感から自分を守り、無意識的に現実へ適応しようとする自我の働きが、「防衛機制」である。
- C 何らかの障害により、行動の発現が妨げられ、そのうえ対処行動もうまくいかなかった場合に生じるのが、「ホメオスターシス」である。
- D ある目的を遂行することによって得られる報酬への欲求だけではなく、目的を完遂することへの欲求が、「自己実現動機」である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	×	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 44 記憶に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 短い時間、あることを記憶にとどめておくのと同時に、認知的作業を頭の中で行う記憶をワーキングメモリーという。
- 2 ある特定の時間と場所での個人にまつわる出来事の記憶をエピソード記憶という。
- 3 一般的な知識などについての記憶を意味記憶といい、加齢の影響はほとんどないとされる。
- 4 将来や未来に関する記憶を展望的記憶といい、友人と会う約束の時間や場所などの内容を含む。
- 5 「1980年の夏、どこかへ旅行に行ったこと」などの、その人自身に関する経験の記憶を手続き記憶という。

問題 45 認知症高齢者への対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 高齢者が失敗したとき、自尊心を傷つけないよう支持的にかかわる。
- B 情報は、一つ一つ簡潔に伝える。
- C 混乱を避けるために、なじみのある言葉で話す。
- D 不安が強いとき、手をつなぐなどのボディタッチは避ける。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 46 パーソナリティ等の測定方法に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ポリグラフによる皮膚電気抵抗の測定は、被験者の情動状態の変化を明らかにする。
- B ウェクスラー式成人知能検査は、年齢別の検査項目を配列して、知能指数を測定する。
- C 内田クレペリン精神作業検査は、作業のむら等、注意集中の程度などを探る。
- D ロールシャッハテストなどの投影法は、被検者の解釈から知覚の特徴や感情などを把握する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 47 認知症高齢者に対する回想法に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 短期記憶を題材にしている働きかけである。
- 2 情動やコミュニケーションを意識しながら働きかける。
- 3 グループで行う場合、高齢者同士の交流は期待できない。
- 4 回想内容の正確さを確認することが重視される。
- 5 視覚的題材や触覚的な刺激は用いずに、言葉だけで働きかける。

問題 48 学習障害に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 障害による困難の実態の多様さに応じ、個性を生かした対処が必要である。
- 2 読字障害では、行を抜かして読んだりするなどの読みの正確さにおける障害がある。
- 3 言語性学習障害では、具体的な行動面でのつまずきが多い。
- 4 学業成績の不振の背景には、読むこと、書くこと、計算することなどの特定の能力の習得と使用における困難さがある。
- 5 抽象性の高い学習内容の場合、具体的な教材を使用する必要がある。

家政学概論

問題 49 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 民法における親族とは、六親等内の血族及び六親等内の姻族をいう。
- B 民法によれば、配偶者と子二人が相続人の場合、相続分は均等相続となる。
- C 成年後見制度は、判断能力が不十分な認知症高齢者や障害者等の成年者を保護・支援するためのものである。
- D 「高齢者虐待防止法」では、養護者又は高齢者の親族、養介護施設従事者等が高齢者の財産を不当に処分することを「高齢者虐待」に該当する行為としている。

(注) 「高齢者虐待防止法」とは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 50 国民生活センターが注意を促している、いわゆる「悪質商法」とその対応に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 あたかも公的機関から来たように言い、商品売りつける「かたり商法」に対しては、契約をする前に身分証を確認し、公的機関に問い合わせる必要がある。
- 2 “高利回り”，“値上がり確実”など利殖になることを強調して勧誘する「利殖商法」に対しては、セールストークを鵜呑みにして商品に手を出すことのないように注意することが必要である。
- 3 “点検に来た”と言って来訪し、修理不能・危険な状態・期限が切れているなど事実と異なることを言って新品や別の商品売りつける「点検商法」に対しては、とりあえず見本品を預かって、使用して見る必要がある。
- 4 独りである高齢者などに訪問販売員が親切そうに声をかけ、信頼感を持たせた上で次々と高額な商品の購入をさせる「次々販売」に対しては、その商品の購入について、家族や周りの人が注意することが必要である。
- 5 日用品などを無料配布するなどして、閉め切った会場に人を集め、最終的に目的の高額な商品売りつける「SF商法」に対しては、安易に会場に出かけないことが必要である。

問題 51 ビタミンの種類とその欠乏症に関する次の組み合わせのうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 ビタミンA――夜盲症
- 2 ビタミンB1――くる病
- 3 ビタミンB2――口角炎
- 4 ビタミンC――壊血病
- 5 ビタミンD――骨軟化症

問題 52 食材としてのさつまいもに関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A ビタミンCが多く含まれる。
- B 便秘改善に効果がある。
- C ジャがいもと比較して糖分や繊維が少ない。
- D 緩慢加熱より急激加熱の方が甘くなる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 53 食中毒を起こす微生物と食品に関する次の組み合わせのうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 腸炎ビブリオ-----海産魚介類
- 2 カンピロバクター-----鶏肉
- 3 腸管出血性大腸菌O-157--食肉・生食用野菜
- 4 サルモネラ-----野菜類
- 5 ノロウイルス-----二枚貝

問題 54 生活習慣病等の予防と食生活に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 動脈硬化症の予防には、動物性脂肪やエネルギーの過剰摂取に注意する。
- 2 糖尿病の予防には、糖質を含まない食事が理想的である。
- 3 痛風の予防には、内臓類やビール等のプリン体の多い食品の過剰摂取に注意する。
- 4 大腸がんの予防には、高脂肪や低繊維食の過剰摂取に注意する。
- 5 骨粗鬆症の予防には、牛乳や小魚等のカルシウムの多い食品を摂取する。

問題 55 毛100%白色セーターの洗濯に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 有機溶剤で洗うドライクリーニングを利用する。
- 2 つけ置き洗いはしない。
- 3 収縮を避けるために、なるべく機械力を与えない洗い方をする。
- 4 鉄分による黄変のしみを取るためには、還元系漂白剤を使う。
- 5 直射日光に当てて干す。

問題 56 次の作業を室内で行う場合に、換気に留意する必要性が最も低いものを一つ選びなさい。

- 1 室内排気型の石油ストーブで室内を暖める。
- 2 塩素系漂白剤を使って布巾を漂白する。
- 3 ガスコンロを使って調理する。
- 4 霧吹きで湿り気を与えた木綿のブラウスにアイロンをかける。
- 5 ベンジンを使って和服のしみを取る。